

切磋琢磨



令和2年3月10日
恵那市立恵那東中学校
恵那市大井町 1073-1
TEL (0573) 25-5261

卒業おめでとうございます

校長 伊藤勝彦

平成2年3月6日、ごく一部の来賓の方、在校生代表、制限された保護者の方の参加という例年とは趣を異にした中、第63回恵那東中学校卒業証書授与式が行われました。3年生の生徒たちは、卒業を間近に控えた2月28日。翌週からの臨時休業を前に最後の卒業式練習を行いました。決して十分な練習とは言えませんが、生徒の卒業式への思いは熱いものがありました。

一週間後の3月6日、卒業式当日。例年より少し早く登校し、最後の確認のための練習を行い、本番の式に臨みました。「卒業生入場」の声と同時に、担任の先導で卒業生の入場です。生徒一人一人しっかりと前に向き、堂々とした姿です。「一同、礼」での礼の姿、「起立」の号令でさっと立つ姿。どの姿をとっても、一つ一つたいへん凛々しく、全員の動きがよく揃っている光景です。国歌・校歌斉唱の後、卒業証書授与です。担任の先生から名前を呼ばれたときの「はい」という気持ちのよい返事。爽やかさを感じました。一人一人が「ありがとうございます」と笑顔で卒業証書を受け取る生徒の姿に思わず心を打たれました。

在校生代表一人の送辞。「3年生の皆さんが築いた『東中黄金期』。これからは、私たちが、その黄金期にさらに磨きをかけ、全校生徒が誇りをもてる学校にしていきます。」という言葉が力強く体育館中に響きました。そして、卒業生答辞。前期生徒会長奥山くんの卒業式開催への感謝の言葉はわたしたち職員も含め、会場を感動させました。「礎」「呼応」「無限大」の学年スローガンが表すように3年間の歩みを、思いを、事実をもとにして語り切りました。「証」「群青」2曲の合唱。とりわけ、「群青」は「また 会おう 群青の町で…」の歌詞と共に美しい響きの歌声に心が動かされました。

例年より短い卒業式、けれども、自分たちの力で精一杯よりよい卒業式にしようという熱い思いが生徒一人一人の姿から感じ取ることができました。本当に「東中黄金期」にふさわしい感動的な卒業式でした。保護者の皆様をはじめ、関係者の皆様方、ご理解とご支援、本当にありがとうございました。

